

こころ、つなぐ、ならは、明日へ!!

広 報

ならは

2021 APR. 第615号

4

●表紙PHOTO:ギリシャから檜葉、そして世界へ

オリンピック
ー開催
檜葉町

ur Way
う。



特集 復興感謝祭2021 檜葉ならでは祭 ～輝け!未来へ～

檜葉町の新たな挑戦～ゼロカーボンシティ宣言～

復興感謝祭2021

檜葉ならでは祭

～輝け！未来へ～

3月7日、「復興感謝祭2021 檜葉ならでは祭～輝け！未来へ～」が開催されました。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から10年。
これまでご支援いただいた皆様への感謝の気持ちと、
町の復興の様子や元気な町民の皆様の活動を発信しました。

竹原ピストルさんによるライブ

CANDLE JUNE(キャンドル ジュン)さん

第1部

みんなで復興と
元気を感じよう！

町で活動する団体の作品がコミュニ
ティセンターに飾られ賑わいが添えられ
る中、第1部は挙行されました。

始めに、町の復興にご尽力いただ
いた皆様への善行表彰が行われました。
続いて行われたのは「町民の主張」。5
名の町民の皆様が震災から現在までを
振り返るとともに、未来に向けての決
意を述べられました。

第1部の締めくくりには、うしお会
の皆様と小学3年生や檜葉町スポーツ
協会職員による「天神太鼓」の演奏と
檜葉天神龍舞「よさこい」の演舞が披露
され、会場を熱く盛り上げました。

第2部

復興の光で
「こころつながる夜を」

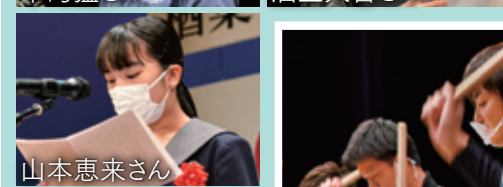
第2部は会場を「みんなの交流館」な
らばCANVASに移し、CANDLE
JUNEさんプロデュースによるキャン
ドルの点灯や、竹原ピストルさんの音楽
ライブを開催。東日本大震災からの復
興を象徴する町内6つの施設からは
サーチライトの光が放たれ、キャンドルと
ともに檜葉の夜空を明るく彩りました。

町民の主張



善行表彰受賞者

渡邊 清様
高原カネ子様
高橋 尚子様
檜葉町農業復興組合様
檜葉町建設業協会様
檜葉町消防団様
医療法人双仁会様
木戸川漁業協同組合様
株式会社Jヴィレッジ様



主な事業	
農業 	営農再開支援事業 253,809千円 事業内容 鳥獣被害防止電気柵補助金や稲作生産環境再生対策補助金などの各種補助金を手厚くし、営農再開支援を行います。
	ふくしま森林再生事業 187,910千円 事業内容 森林の公益的機能を回復しつつ、放射性物質を低減し、森林・林業の再生を図ります。
	担当課 産業振興課
教育 	檜葉小学校施設整備事業 572,432千円 事業内容 令和4年度の檜葉小学校(旧檜葉南小学校)開校に向けて、楽しく充実した学びの場となるよう、校舎やグラウンドの改修工事等を行います。
	コミュニティセンター施設整備事業 191,777千円 事業内容 東京大学総合研究博物館との連携博物館の開館に向けて、コミュニティセンター改修工事や展示室設計製作等を行います。
	担当課 教育総務課
健康 	放課後児童クラブ施設整備事業 109,164千円 事業内容 共働き世帯等が安心して子育てしやすい環境となるよう、檜葉小学校開校に併せて同敷地内への施設整備を行います。
	担当課 住民福祉課
	健康サポート事業 9,567千円 事業内容 ウォーキングや元気アップ教室等を行い、町民の方一人ひとりがいつまでも元気に過ごせるよう、健康維持のサポートを行います。
	担当課 住民福祉課
その他 	竜田駅周辺整備事業 193,175千円 事業内容 新駅舎となったJR竜田駅周辺の整備を行い、生活やアクセスの利便性向上を図りながら、地域住民の方々に寄り添った環境を目指します。
	担当課 建設課
	岩沢海水浴場災害復旧工事 79,888千円 事業内容 現在閉場している海水浴場の再開に向けて、以前よりも快適にご利用いただけるよう、トイレや監視塔の復旧工事を行います。
	担当課 新産業創造室
新型コロナウイルス感染症対策 	新型コロナウイルス対策関連事業 69,406千円 事業内容 ワクチン接種に係る体制確保をはじめとして、臨時特別出産祝い金や各種助成金等、感染拡大防止と充実した生活の両立に向けた取り組みを行います。
	担当課 住民福祉課、産業振興課、新産業創造室

令和3年度一般会計

94億1,700万円

当初予算から
紐解く今年1年

令和3年度当初予算が、3月檜葉町議会定例会において可決されました。

一般会計の総額は94億1,700万円で、昨年度と比較すると、1億200万円の減額となります。

震災から10年が経過し、さらなる町の発展に向けた事業展開と、
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とを両立しながら、
町の皆さまがより安心して暮らせる魅力ある町となるための予算編成を行いました。

令和3年度当初予算規模				
(単位:千円、%)				
会計の名称	令和3年度当初	令和2年度当初	増 減	比 較
一 般 会 計	9,417,000	9,519,000	△ 102,000	△ 1.1
国民健康保険特別会計	1,202,261	1,346,069	△ 143,808	△ 10.7
下水道事業特別会計	483,422	485,108	△ 1,686	△ 0.3
住宅用地造成事業特別会計	740	986	△ 246	△ 24.9
介護保険特別会計	1,021,180	992,043	29,137	2.9
後期高齢者医療特別会計	33,125	32,691	434	1.3
合 計	12,157,728	12,375,897	△ 218,169	△ 1.8

まちの将来像

～「ふるさと」の良さを活かした、しなやかなまちづくり～

これが
第六次町勢振興計画
の全体像！



● ゆず太郎 YouTuber 計画

05

町長
副町長
教育長
代表監査委員

住民福祉課

産業振興課

【建築住宅係】

11

新
は新規採用

町内の企業が ふくしま産業賞 受賞！

2月16日、福島S i C応用技研(株)(山田岡)とアンフィニ(株)(下繁岡)が「ふくしま産業賞」の受賞報告のため来庁しました。「ふくしま産業賞」は全国に誇る福島のものづくりや技術を福島民報社が表彰するものです。福島S i C応用技研(株)は半導体を利用した医療機器の開発が認められ、福島民報社奨励賞を受賞。アンフィニ(株)は品質にこだわった太陽光パネルが認められ、特別賞を受賞しました。輝かしい賞の受賞、おめでとうございます！



地域のためにドコモが提案

2月19日、(株)NTTドコモ社員と町職員による地域課題解決研修の発表会が行われました。

この研修は2018年から開催されているものです。今回はビデオ通話やWEB会議を利用して、リモートで町内の方々に話を聞き、地域課題の解決方法を模索しました。町では研修での意見を参考に、よりよい町づくりを進めていきます。ドコモの皆様、ありがとうございます。



開幕戦に向け、 いわきFC来庁

2月19日、今季の日本フットボールリーグ開幕戦に向けて、いわきFCの大倉智総監督と選手の方々が来庁しました。3月14日の開幕戦ではウィアティン三重に2-1で勝利しました。今季こそJ3昇格！がんばれ、いわきFC！



「うつくしま浜街道」を トレイルコースに

2月19日、「うつくしま浜街道」のトレイルコース整備に向け、関係者の皆さんが富岡町からJヴィレッジまでを試験的に歩きました。これは、八戸市から相馬市まで続く「みちのく潮風トレイル」を将来的にいわき市までつなげよう、という取り組みの一環で行われたものです。

近年「トレイル」は、国内外で人気が高まっています。東北地方太平洋沿岸をつなぐコースは復興の様子を感じることができ、浜通りの魅力発信にもつながることが期待されています。

※トレイル：森林や原野、里山などの整備された道を歩くはやすでに旅すること。



子ども議会開催

2月24日、榎葉南北小学校6年生15名が出席し、「子ども議会」が開催されました。これは子どもたちに議会への興味や理解を深めてもらうことを目的に開催されるもので、震災後の開催は今年で4回目。今年も子ども議員からは、これからの町づくりの参考となる質問が多くありました。町はこれらを活かしながら、町の掲げる「日本一の教育」を目指していきます。



食で想いをツナグ

3月3日、小豆島で作られている貴重な醤油「鶴醬」が小中学校に届けられました。これは「NPO法人3・11ツナグ」(愛知県)の活動の一環で、理事長の泉智仁さん(天台宗僧侶)が双葉郡内すべての小中学校を一校訪問し届けています。

泉さんは、「自分はいわき市出身で双葉郡とも深い繋がりがある。東日本大震災の記憶や教訓を風化させないため、今後も『食』を通して被災地への支援を続けていきたい」とお話をされていました。



左より 早川中学校校長、青木教育長、泉さん、堀本小学校校長

榎葉市民大学公開講座 「和食に学ぶ健康長寿」

2月28日、榎葉市民大学公開講座「和食に学ぶ健康長寿」が開催されました。講師は、榎葉町出身で食文化史研究家の永山久夫先生。永山先生は、家庭で使われている食材の栄養成分や食材にあった調理法について、ユーモアを交えて解説してください、受講生は終始笑顔で熱心に聞き入っていました。



榎葉町消防団に新型車両配備

3月3日、榎葉町消防団第2分団第1部(下小埇地区他)に新型消防車両が配備されました。配備式で町長の激励とともに消防車両を受け取った団員の皆さんは、早速、木戸川で放水試験を実施。車両や機材の性能を確認していました。現在、榎葉町消防団にはこの車両を含め、16台の消防車両が配備され、地域の消防団員によって運用されています。



地域復興へ 貢献

3月3日、㈱ナミクラより地域の復興に役立ててほしいと、寄附金をいただきました。
 (株)ナミクラは波倉地区有志の皆様が設立した会社です。社員一人ひとりの「地域に貢献しよう」という思いが10年の節目に「寄附金」という形で結実。町では復興・まちづくりのため、有意義に使わせていただきます。



四家徳美専務取締役(左)

ミニマラソン大会 開催

3月6日、天神岬スポーツ公園で榎葉町振興公社主催のミニマラソン大会が開催されました。今回は、サイクリングコースを利用した試験的な大会でした。参加した76名は、春風とともに公園内を駆け抜けました。今後振興公社では、天神岬スポーツ公園を利用した様々なスポーツイベントを開催する予定です。



Naiysからの贈り物

3月9日、中学校の模擬会社「Naiys」から町内の施設へ、物品が寄贈されました。これはNaiysの売り上げの一部で各施設が必要としている物品を購入し寄贈する取り組みで、会社創設以降続けられています。



やまゆり荘(ミニコンボ1台)



リリー園(お菓子作り道具一式)



あおぞらこども園(木琴4台)

佐藤さん100歳賀寿

3月10日は、佐藤秋雄さん(大谷)の100回目の誕生日でした。当日は、ご親族の青木議長、青木教育長も見守る和やかな雰囲気の中、町長から佐藤さんに祝金と記念品が贈呈されました。
 佐藤さんは長年、決まった時間に食事をするなど規則正しい生活を送り、現在でもご自分の32本の歯で、好き嫌いなく食事をされています。
 また、ご自宅でリハビリに励まれており、その様子を奥様が笑顔で話してくださいました。
 当町では百歳代の方が9名いらっしゃいますが、佐藤さんは男性の最高齢者です。これからも、益々ご壮健にお過ごしください。おめでとうございます。



ゆず香る文化の里の再生

町では「ゆず香る文化の里」再生に向け、公共施設周辺にゆずの木を植樹しています。3月12日、町三役と管理職でつくる榎葉町管理職会が、山田岡のため池付近にゆずを植樹しました。
 榎葉町では温暖な気候に適した「ゆず」に着目。昭和60〜63年度にかけ1家庭に1本、また榎葉町ユズ研究会に1、600本のゆずの苗木を贈り、「ゆず香る文化の里」を宣言。ゆずの栽培を進めてきました。
 今後も町では「ゆず香る文化の里」にふさわしい町となるよう、各所にゆずを植樹していきます。



令和3年東日本大震災追悼・献花式

東日本大震災の発生から10年となる、令和3年3月11日、榎葉町コミュニティセンターにおいて東日本大震災追悼・献花式を開催しました。
 約200名の方々にご参列いただき、震災によって亡くなられたすべての方に黙とうと献花を捧げました。



藍と愛の絆

3月11日、広島県福山市有志の皆様と、福山市立湯田小学校から、復興への励ましのメッセージと藍の種が届きました。湯田小学校は2016年から町内の「ならは藍染め会」と毎年交流を続けています。届いたメッセージは「みんなの交流館 ならはCANVAS」に展示されています。ぜひご覧ください。



茶道で礼儀作法をお勉強

裏千家 淡交会いわき支部 山内宗由社中の皆様をお招きし、5歳児が茶道をととして礼儀作法を学びました。茶道の由来や作法を勉強してから、一人ひとり点てたお茶をいただきました。慣れない作法に戸惑いながらも先生からの指導をしっかりと守っていました。



あおぞら こども園 通信

巨大モニュメント作製〜♪♪

みんなの交流館ならはCANvasで開催された「3.11CANvasに描く!未来へつなぐ」の巨大モニュメントの作製に、4歳児と5歳児が参加しました。このモニュメントは、震災10年を節目に象徴となるものを残すため、園児たちの手形を使い製作されました。今後、5年後、10年後にも飾られ、未来へ繋げていくとのこと。



新しい遊具整備

0歳〜2歳児用に新しい遊具を整備しました!この遊具は町のふるさと納税で「子ども達の健全育成・健康に関する事業」に寄せられた寄附金を財源として整備されました。ご寄附いただいた皆様、大変ありがとうございます。大切に使用させていただきます。



あおぞらこども園 ☎0240-26-0808

あおぞらこども園Instagram <https://www.instagram.com/naraha.kodomoen/>



NARAHA TOPICS ならはの話題



3月10日から4日間「SONG OF THE EARTH 311 -FUKUSHIMA 2021-」がJヴィレッジで開催されました。このイベントは東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興を祈念し、一般社団法人ラブフォーニッポンが2005年から開催しています。イベントに参加された皆さんは、震災から現在、そしてこれからの未来に思いを馳せていました。

SONG OF THE EARTH



3月12日、檜葉南北小学校3年生作製の看板やメッセージが「道の駅ならは」に届けられました。届けられた看板には「道の駅ならは」や町をPRする内容が盛りだくさん! 看板は「道の駅ならは」入り口に展示されています。お立ち寄り際には、ぜひご覧ください。

道の駅で 販売実習



3月12日、ふたば未来学園高等学校の皆さんが道の駅ならは物産館で販売実習を行いました。生徒の皆さんは檜葉町のゆずや広野町のみかんの収穫を行い、それらを使った商品の開発に取り組みました。店頭では商品がすぐに完売になるなど、大盛況の販売会となりました。

4年後、 待ってるね!



3月16日、あおぞらこども園の園児と小学校の全校児童が参加し、木戸川で今シーズン初となる鮭の稚魚の放流が行われました。始めに木戸川漁協の鈴木ふ化場長から鮭の生態と命の尊さを学んだ子ども達は、大事そうに鮭を放流していました。今回放流された稚魚は、小学校4年生がふ化を成功させた稚魚を含む5,000匹。子ども達は稚魚に「大きく育ってね!」と声をかけ、泳いでいく姿を見守っていました。



開室時間…午前9時～午後5時
4月の休室日…5日(月)、12日(月)、19日(月)、
26日(月)、29日(木・祝)

【おすすめの図書】 (一般図書)

『そこに工場があるかぎり』

小川洋子／著(集英社)

著者は、芥川賞作家の小川洋子さん。幼いころから工場の前に立ってあはゆる想像を膨らませていたという小川さんが、金属加工、お菓子、ボート、乳母車、ガラス加工、鉛筆の六つの工場取材したエッセイ集。「ものづくり」に対する小川さんの深い尊敬と愛情が、美しい文



『そこに工場があるかぎり』
小川洋子／著(集英社)

章から伝わってくる作品です。

(児童図書)

『まんがで学ぶ！ 新型コロナ知る知るスクール』

岡田晴恵／著、山田せいこ／まんが
(ポプラ社)

新型コロナウィルスって何？正しい手洗いと消毒のことを教えて！ワクワクして何？など、みんなのギモンについて専門家の岡田晴恵先生と一緒に学びます。感染のしくみなどのむずかしそうな情報も、イラスト形式でわかりやすく説明しています。マンガだからよくわかる！



『まんがで学ぶ！
新型コロナ知る知るスクール』
岡田晴恵／著、
山田せいこ／まんが
(ポプラ社)

【お知らせ】

新型コロナウィルスの感染を予防し、図書室を快適に利用していただくために、
●マスクの着用と手指の消毒をお願いします
●長時間の滞在はお控えください
ご理解とご協力をお願いいたします。

新着図書

【一般図書】

- 『Au オードリー・タン』
アイリス・チュウ、鄭仲嵐／著(文藝春秋)
- 『美女が長寿食を好む理由(わけ)』
永山久夫／著(春陽堂書店)
- 『白い土地』三浦英之／著(集英社クリエイティブ)
- 『アイラップレシピ』
アイラップ愛好会／著(山と溪谷社)
- 『夜景座生まれ』最果タヒ／著(新潮社)
- 『銀の夜』角田光代／著(光文社)
- 『地べたを旅立つ』そえだ信／著(早川書房)

【児童図書】

- 『カカ・ムラド～ナカムラのおじさん』
ガフワラ／原作、さだまさし他／訳・文(双葉社)
- 『いつでもどこでもきのこ』
保坂健太郎／文、新井文彦／写真(文一総合出版)
- 『夢の発電って、なんだろう？』森川成美／作(講談社)
- 『地方を生きる』(ちくまプリマー新書)
小松理虔／著(筑摩書房)
- 『めいたんていサムくんとあんどうマン』
那須正幹／作(童心社)
- 『ねぎぼうずのあさたろう その11』
飯野和好／作・絵(福音館書店)
- 『ぺこぺこペコリン』
くさみなこ／作、こがようこ／絵(講談社)

4月23日は「子ども読書の日」、4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことはとても大切です。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

【お問い合わせ先】 檜葉町図書室(檜葉町コミュニティセンター内) ☎0240-25-4730(月曜・祝日休館)

足もとに未来をみつめて

第35回

「檜葉町と原子力発電所」

檜葉町歴史資料館

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故から10年が過ぎました。追悼イベントやテレビ報道などで、当時のことをありありと思い浮かべ、自分と向き合う時間をもたれた方も多いと思います。また、これからの10年に思いめぐらす場面もあったことでしょう。今月は、町のあゆみで避けては通ることのできない原発誘致の歴史から、震災後の東電とのかかわりを織り交ぜながら、これからの歴史を紡いでいくその意味を、静かに考えます。



福島第二原子力発電所建設開始(昭和50年)

地震、津波…

地震、津波、原発事故。檜葉町民にとって、10年を経ても自分の感情を隠さずぶつけることすらしてしまう対象だと思えます。いまでもかなうものならば、タイムマシンに乗って過去を変えられないものか、そんな気持ちを抱くほど、どうしようもない思いに支配されることがあります。ですが、それが東電社員となればどうでしょうか。私自身、負の感情を抱くこともあればそうではなかったりと、この10年、その時々、さまざまに揺れ動いてきました。震災後の東電とのかかわりから言えることは、目を閉ざすのではなく、復興史の一頁に確かに関わったその事実を冷静に残しておくことかもしれません。

町と福島第二原子力発電所

檜葉町の歴史上、東京電力福島第二原子力発電所の誘致が、大きな意味をもつことはいままでもありません。ですが、そうした歴史観に立つことができた



町と東電による岩沢磨崖仏の保全活動(平成28年)

恩讐を超えた先に

「加害者のいる災害の哀しさ」という言葉があります。やり場のない気持ちるをぶつける側とそれを受け止める側。双葉郡と東京電



町と東電で実施している天神原湿原の保全(平成29年)

力の関係は一変しました。しかし、実のところ、そんな単純な図式では説明できない。複雑な「感情があつたはず」です。物事を単純化すれば、わかりやすいかもしれませんが、一人ひとりの心が千差万別であるように、決めつけることなく考え続ける必要はあると思います。私自身、東京電力と共同で事業をおこなった際、どこか手伝ってもらって当たり前といった思いがよぎったことがありました。そして、そのとき、自らの復興の舵取りまで放棄してしまうところだった自分を恥じたことを思い出します。恩讐を超えた先に、町と東電とのかかわりはこれからも続くはずです。「それはそれ、これはこれ」と、割り切ることができない日が来ることを願っています。



市民大学農業講座に協力も(令和元年)



今月のイベント

フラワーアレンジメント教室

〔開催日〕4月20日(火) 10:00～
〔会 場〕ならはスカイアリーナ エントランス
〔テーマ〕ラインアレンジ(生花) 〔参加費〕¥2,500

5月のイベント

職域対抗ソフトボール大会

〔開催日〕5月12日(水)開会式18:30～
5月13日(木)
〔会 場〕檜葉町総合グラウンド・サブグラウンド
〔参加費〕¥3,000/チーム ※上限8チーム
〔申込期間〕4月19日(月)～5月7日(金)

檜葉町グランドゴルフ交流会

〔開催日〕5月24日(月)
〔会 場〕檜葉町総合グラウンド・陸上競技場
〔参加費〕¥500/1人
〔申込期間〕4月26日(月)～5月21日(金)

ウォーキング・軽登山教室

〔開催日〕5月15日(土)
〔行 先〕●軽登山/西郷村甲子山
●ウォーキング/西郷村西の郷遊歩道
〔参加費〕¥3,000/1人
〔定 員〕25名
※定員となり次第締切となります
〔申込期間〕4月1日(木)～4月23日(金)

結果報告

●3月15日檜葉町総合グラウンドにて第1回ゆずの里中学生駅伝大会が開催されました。結果は次の通りです。
〔男子優勝〕高田ランボーイズ
〔女子優勝〕チームTK おめでとうございます!

お知らせ

〔令和3年度会員登録について〕

4月1日(木)から、令和3年度の会員登録が始まりました。スポーツ協会への入会、スポ少入団の詳細は、今月号に同封されているチラシ「2021年度事業案内」をご確認ください。

会員豆知識!

会員の方は全ての教室に参加可能です。例えば、月曜日に「ミニウォーキング」、火曜日に「ソフトバレーボール教室」、金曜日に「ヨガ教室」、月に一度の「フラワーアレンジメント教室」など。
※別途、参加費が必要となる場合があります。

ご興味のある方は、ぜひ会員登録を! スポーツで充実した毎日を過ごしましょう!

スポーツコミッション事業通信

●2月28日～3月24日まで青森大学硬式野球部が、ならは球場で合宿を行いました。合宿中には檜葉町スポーツ協会からマミーすいとんの差入れや檜葉町振興公社から温泉入浴券の提供があり、選手の皆さんに喜んでいただきました。また、岩手大学硬式野球部やDOサッカークラブ(茨城県)など各地から多くの野球・サッカーチームにも檜葉町にお越しいただいております。



お問い合わせ・申込み先 (一社)檜葉町スポーツ協会(ならはスカイアリーナ内) ☎0240-26-0076 FAX0240-23-6047

おうちでならいざっふ

今回のテーマ『四月病にご用心!』

四月病って何?

「四月病」は次のような症状が出る病気の俗称です。ただ、身体の不調を引き起こすきっかけとなる可能性があるため、四月病は病気の手前の状態だと思ってください。

- ✓ やる気はあるのに身体の調子が悪くて空回り
- ✓ 原因がよく判らないけど不安な気持ちになる
- ✓ 遠足の前の日のように、布団に入ってもなかなか寝付けない

4月に入ってから、このような症状が気になりだしたら、四月病の初期症状かもしれません。



四月病の原因は?



- ・季節が変わって生活リズムが変化すること
 - ・新たな年度を迎えて期待と不安が入り混じった気持ちで過ごしていること
 - ・季節や気候の変化による体内のリズムが乱れ、体調を崩してしまうこと
- などが原因のようです。

四月病は改善 & 予防できるの?

本格的に体調を崩してしまう前に、早めに手を打つことが大切です!

☆ストレスを解消する

- ・誰かに相談して、気持ちがスッキリするまでお喋りして発散する。
- ・不安な気持ちを一人で抱え込むと、色々考えてしまいがちです。身近な人に相談して発散しましょう。
- ・身体を動かしてストレスを発散。ウォーキングやジョギングで心身ともにリフレッシュ。



☆自分自身に高い期待をかけない

- ・自身への高い期待は自己成長するためには大切。でも、ときには自分を甘やかすことも必要です。
- ・目標設定を下げたり、自分にご褒美をあげたり、ちょっぴり肩の力を抜いてみましょう。



☆朝日を浴びて体内リズムを整える

- ・決まった時間に起床して、すぐに朝日を浴びましょう(曇り空でも、屋外は室内よりも10倍以上明るいです)。
- ・朝食をとることで、内臓も朝が来たことを認識します。特に、タンパク質が多いメニューは、体内リズムをより効果的に整えます。
- ・生活リズムを整えることは体内リズムを整えることにつながります。



まずは手軽に取り組みそうな方法から始めてみてください。一番のおススメは…、『朝日を浴びて体内リズムを整える』です。体内リズムが整うと、身体的にも精神的にもストレスに対処する力が高まり、「四月病」を予防&改善するのに効果的です。

その日の疲れはその日のうちに解消できるように、ゆったりと過ごせる時間をつくりましょう。また、起床時や寝る前など、こまめにストレッチをすることで、疲れにくい身体をつくることのできるのです!

滝沢保健師

新型コロナワクチン接種Q&A

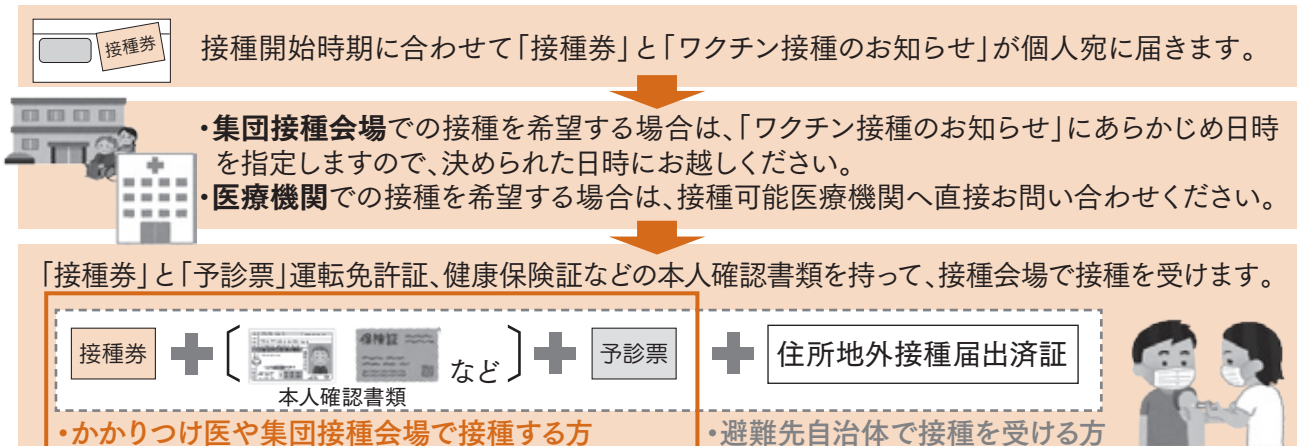
Q1 なぜワクチン接種が必要なの?
期待されるメリットは**発症予防 重症化予防!**
ワクチンを接種すると、体を守る抗体などができ、抗体があれば感染しても発症しにくくなったり、重症化や亡くなったりする人も減らせます。

Q2 いつから接種できるの?
2月17日から医療従事者を対象にワクチンの先行接種が始まりました。ワクチンは徐々に供給が行われるため、一定の接種順位を設けて接種します。
具体的な日には未定ですが、スケジュールが決まり次第皆様へお知らせします。

(接種順位)
(1)医療従事者
(2)高齢者(令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方)
(3)高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方
(4)それ以外の方

Q3 どこで接種できるの?
かかりつけ医(個別接種)
または
町が設置する特設会場(介護老人保健施設檜葉ときわ苑)(集団接種)
※住民票のある自治体での接種が原則ですが、入院・入所中の方や、原発事故により避難中の方等、檜葉町以外の居住地で接種を希望される方は、今、お住いの市区町村に接種場所をご確認ください。

Q4 どうやって申し込むの?
高齢者や一般の方への接種には、町が発行する「接種券」が必要になります。
「接種券」は、居住先にかかわらず、住民票のある自治体が発行します。
また、避難先届けをされている方へは接種券と併せて「住所地外接種届出済証」を送付します。



行政相談会開催のお知らせ

行政相談委員による行政相談会を開催します。事前予約は不要で、秘密は守られます。行政に対する困りごとなどお気軽にご相談ください。

■開催日/原則毎月第2木曜日(4月～3月)
■時間/10:00～12:00
■会場/みんなの交流館ならはCANvas 2階「和室-2」

行政相談委員

檜葉町では、永山光明氏(山田岡)が総務大臣より行政相談委員を委嘱されています。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来館の際はマスクの着用をお願いします。
※地域の感染状況により中止となる場合は、町のホームページでお知らせします。

●お問い合わせ先/総務課 ☎0240-23-6100



永山光明氏

ならはスカイアリーナ2周年!

ならはスカイアリーナは4月13日でオープンから2周年になります。
そこで4月13日(火)限定! 来場者特典として、先着100名様にノベルティをプレゼント!!
みんなでならはスカイアリーナの2周年をお祝いしましょう!
スタッフ一同、皆様のご来館をお待ちしています。

3月21日(日)ならはスカイアリーナにて「SOMPO ボールゲームフェスタ in 檜葉」が開催されました!

午前の部は大きさや形の異なるボールを使い、「あそび」を通して運動の基礎を作るプログラム「あそびバ!」を開催しました。

親子一緒にお家でもできるボール遊びを体験しました!

午後の部ではさまざまなボールゲームを体験する「キッズチャレンジ」を開催!

サッカー、ラグビー、バスケットボール、バレーボールの4種目を、たくさんのお子たちが体験しました!

当日は元サッカー日本代表で、イベントアンバサダーの鈴木啓太さん、福島ユナイテッドFCの選手や各競技のOB・OGの皆さんが、参加者と一緒にボールゲームを体験して汗を流しました!

今回のイベントを通して、子どもたちがボールゲームを始めてくれるきっかけになればいいと思います!ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!



お問い合わせ先/ならはスカイアリーナ ☎0240-23-7966

■ 檜葉ならではの健幸チャレンジ！

町民の皆さんが楽しみながら積極的に健康づくりに取り組めるよう、町では『檜葉ならではの健幸チャレンジ事業』を実施しています。

毎日の健康行動や、健康診断・がん検診の記録、ボランティア活動やイベントに参加してポイントをゲット！たまったポイントで「ふくしま健民カード」を取得、町からは“ささやかな”プレゼントをお贈りします。

『健康』と『お得』を獲得して、健やかな毎日を通しましょう！

■対象者／・18歳以上の町民(高校生を除く)
・町内の事業所にお勤めの方

■実施期間／
令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)

■参加方法／
①『檜葉ならではの健幸チャレンジ事業』の台紙を入手。
(台紙は今月号の広報ならはに同封されている他、役場窓口等に設置)
②「毎日の健康行動」「健康づくり活動」「社会参加」など、健康づくりメニューに取り組む。取り組んだメニューを台紙に記録する。
③ポイントの合計が3,000ポイントになったら、役場窓口(住民福祉課)に台紙を提出。「ふくしま健民カード(ノーマルカード)」が発行され、町からは“ささやかな”プレゼント！

【スマートフォンアプリで手軽にポイント獲得】

アプリは「ふくしま健民カード」
(<https://kenkou-fukushima.jp/appli-info/>)
またはQRコードから取得できます。



■お得情報／
○「ふくしま健民カード」を協力店で提示すると、お得なサービスや特典が受けられます。
○健康づくりメニューをさらに継続してポイントをためましょう。ポイント数に応じてカードがランクアップ！ランクアップするたびに、町から“ささやかな”プレゼントをお贈りします。
●お問い合わせ先／住民福祉課 ☎0240-23-6102

■ 個別健康相談会

ちょっとした身体の不調や、お医者さんに相談しにくいことなど、様々な悩み事に医療専門職が応じます。

■日時／4月8日(木)、4月22日(木)
13:30～16:00(事前予約制)

■会場／ならは薬局 サロンスペース
●お問い合わせ先／住民福祉課 ☎0240-23-6102



■ 高等学校等への通学費の一部助成

■対象者

- (1) 檜葉町に住所を有し、高等学校等に在籍する方(基準日となる5月1日に在学している方)
- (2) 高等学校等の所在する最寄りの駅から定期券を利用し通学している方、またはバスの定期券を購入し通学している方

■助成額(100円未満切り捨て)

- 檜葉町内から通学の場合
電車:定期券購入費(1ヶ月分)×12月×100%の金額
バス:定期券またはバスカード(スチューデントパスのみ)の購入費×100%の金額
- 檜葉町外から通学の場合
電車:定期券購入費(1ヶ月分)×12月×20%の金額
バス:定期券またはバスカード(スチューデントパスのみ)の購入費×20%の金額

■提出書類

- ・交付申請書
- ・生徒手帳(学生証)または、在学証明書の写し(バスの場合はその都度添付)
- ・通学定期券の写し、または領収書(バスカード)

※交付申請及び助成金の交付は、電車については年度内1回です。なお、バスの申請は利用期間ごとの申請となります。

●お問い合わせ先／教育総務課
☎0240-23-5515 FAX0240-25-4703

■ 南地区リサイクルハウスの運用開始について

ビン・カン・ペットボトルの回収を南地区リサイクルハウスで開始します。利用方法等の詳細は、広報5月号にてお知らせいたします。

■開始時期／5月9日(日)～

■回収品目／ビン・カン・ペットボトル

■場所／南地区リサイクルハウス
(下小塙字町86-1)

■時間／9:00～12:00(毎週日曜日)

●お問い合わせ先／くらし安全対策課 環境係
☎0240-23-6109



■ 元気アップ教室

Jヴィレッジフィットネスジムのトレーナーが、運動やストレッチ等を支援します！

■日時／4月14日(水)、4月28日(水)
13:30～15:00

■会場／みんなの交流館 ならはCANvas
●お問い合わせ先／住民福祉課 ☎0240-23-6102

■ 令和3年度檜葉市民大学受講生募集

令和3年度檜葉市民大学の受講生を募集しています。皆様のご参加をお待ちしております。申込等、詳しくは同封の「令和3年度檜葉市民大学募集要項」をご覧ください。

教養課程(月2回)(会場:檜葉町コミュニティセンター・小会議室)		
コース名	日時	内容
書に親しむ	第2、4土曜日 10:00～11:30	書は心の鏡。美しい文字には美しい心が宿ります。交流館等での展示会も行う
心に響くハーモニー	第2、4水曜日 13:30～15:00	童謡唱歌や抒情歌、外国語の歌を合唱。心と人のハーモニーづくり
足もとに未来を見つめて(歴史講座)	第2、4金曜日 10:00～11:30	町の歴史を、現地見学を織り交ぜながら掘り下げ、未来へのヒントを探る
ニーハオ!中国	第2、4水曜日 19:00～20:30	簡単な中国語会話や歌、家庭料理作りをとおして中国文化を学ぶ
初級英会話講座 (10月開講予定)	第2、4木曜日 19:00～20:30	誰にでもできる英会話を身につけ、国際人の仲間入り!国際都市檜葉!

- 4月第4週目からの開講予定ですが、事情により延期する場合があります。
- 講座によっては止むを得ず開講できない場合があります。
- 講座会場については変更になる場合があります。

公開講座(不定期)		
講座名	日時・会場	内容
講演会・演奏会	年2回程度 時間内容未定 会場未定	専門家による講演のほか、演奏・演芸をとおし「生きた知識」に触れる

●お問い合わせ先／教育委員会 生涯学習係 ☎0240-25-2492 FAX0240-25-4703

■ 森林の立木を伐採するときは届出が必要です。

■伐採及び伐採後の造林の届出制度とは…

森林法で、伐採及び伐採後の造林は事前に届出を行うことが定められています。これは、適正な森林施業を確保する観点から、市町村森林整備計画に適合した伐採や伐採後の造林が適切に行われているかを確認するためです。

■対象となる森林…

市町村森林整備計画の民有林が対象となります。「人工林・天然林」「伐採本数」にかかわらず、現況が森林の状態となっている場合は届出の対象となる場合があります。必ず担当までお問い合わせください。

■手続き方法

- 届出対象者／立木の伐採について権限を有する方
(例:森林所有者、立木を買い受けた方)
 - 所有者あるいは請負業者によって伐採する場合
:森林所有者
 - 森林所有者から立木を買い受けて伐採する場合
:森林所有者と買受人の連名
 - 届出期間／伐採を始める30日前まで
 - 届出先／伐採する森林がある市町村長に届出
- お問い合わせ先／産業振興課 農林土木係 ☎0240-23-6104



■ 衛生害虫駆除の実施について



檜葉町内の住宅及び住宅周りの衛生害虫(蚊など)の駆除を行います。駆除をご希望の方は、広報ならは4月号に同封された「衛生害虫駆除希望申込書」に必要な事項を記入し、お申込みください。

■対象／檜葉町内の住宅
(※1世帯につき1件)
■受付期間／5月12日(水)まで
■受付件数／先着320件
(うち20件は町営住宅分)
■申込方法／
①または②のいずれかでお申し込みください。
①役場窓口へ提出
②FAX(0240-25-1100)で提出
※申込書のオモテ面・ウラ面にご留意ください。

●お問い合わせ先／くらし安全対策課 ☎0240-23-6109

■ 楡葉町帰還農業者支援事業

農家の皆さんが、町内で再び営農を始めるため必要な、小型の農業用機械や小規模な農業用ハウスの導入費用を助成します。

■対象者／

楡葉町に農地を所有する農業者で町内において農業経営を再開する意思があり、年間農業従事日数が150日以上となることが確実となる農業者、農業者の組織する団体等。

※農業経営世帯につき1回限りの申請となります。

これまでに活用された方は対象外となります。

■対象経費(①②ともに上限50万円)／

①農業用機械購入費(営農に必要な小型管理機、肥料散布機等)

②農業用ハウス購入費(小規模なビニールハウス、設置費や修繕費含む)

※補助対象の農業用機械とは、耕作をする田畑で作業する機械です。

※草刈り機等は補助対象外となります。

■補助額／事業費の3/4以内

例：補助対象経費50万円×補助率3/4＝補助金37万5千円

■令和3年度 第1次申請期間／

4月1日(木)～5月7日(金)

●申請窓口・お問い合わせ先／

産業振興課 ☎0240-23-6104

■ 県からのお知らせ 木戸ダム・谷室沢ダムの 「事前放流」について

～ダムの洪水調節機能強化に向けた取り組み～

■事前放流とは

令和元年東日本台風などの水害の激甚化を踏まえ、台風などによる大雨が予想される場合に事前にダムの水位を下げて、洪水調節のための容量として活用することにより、木戸川下流の氾濫や浸水被害の軽減を図ります。

二級河川木戸川水系のうち、楡葉町にある木戸ダム及び、谷室沢ダムにおいて、洪水調節機能の強化を図るための治水協定を3月1日に締結し、「事前放流」の取り組みを開始しました。

■事前放流の内容は

事前放流は、気象庁の降雨予測に基づき、約3日前から予測降雨量が48時間で240mmを超える大雨になると予想される場合に実施します。



●お問い合わせ先／福島県 富岡土木事務所 ダム課
☎0240-23-5559

■ 女性のがん(子宮頸がん・乳がん)検診意向調査について

～あなたと、あなたの大切な人のために、定期的ながん検診を受けましょう～

福島県内にお住いの20歳以上の女性を対象に、町から「女性のためのがん検診意向調査票」が送付されました。意向調査票が提出されていないと、検診を受診できない場合があります。また、意向調査票に記載された住所が、現住所と異なる場合は、必ず新しい住所を記入してください。

■意向調査票提出期限／4月12日(月) ※調査票に必要事項を記入して返送してください。

【福島県外にお住いの方へ】

福島県外にお住まい(避難先住所を登録している)の方には、夏頃に日本予防医学協会からお知らせが送付される予定です。

【集団検診の日程・会場】

検診内容	日程	会場
子宮頸がん検診	5月25日(火) 5月27日(木)	ならはスカイアリーナ (大字大谷字上ノ原16)
乳がん検診	5月31日(月) 6月1日(火)・2日(水) 6月9日(水)～11日(金)	

【施設検診】

方部によって日程が異なります。詳細は意向調査票に同封されたお知らせをご覧ください。

●お問い合わせ先／住民福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

■ 厚生労働省福島労働局委託事業 「福島雇用促進支援事業」 福島広域雇用促進支援協議会 からのお知らせ

就職相談

就職活動の進め方やハローワークの活用方法など、相談員がさまざまなアドバイスをを行います。

あなたのサポーターがここにいます！

【電 話】フリーダイヤル 0120-810-650

受付時間：平日 9:00～12:00、
13:00～16:30



【メール】ホームページの専用フォームから24時間受付中

【窓 口】※予約制(フリーダイヤルにお問合せください)

【求職者向け】職場体験実習

“大人のインターンシップ”参加者大募集！

県内594事業所で、さまざまな業種の中から、興味のあるお仕事を体験できる就職活動はいかがですか。是非お気軽にお問い合わせください。

※お申し込み随時受付中！

■期 間／1～3日

■体験時間／体験先の所定労働時間内(8時間以内)

■体 験 先／職場体験実習登録事業所

■内 容／会社見学や事業説明、簡単な業務体験など

●お問い合わせ先／

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口

(福島市中町4番20号 みんなビル202号)

☎024-524-2121 FAX 024-524-2125

■ 自衛官を募集しています

	一般曹候補生
受付期間	第1回 令和3年3月1日～5月11日 第2回 令和3年7月1日～9月 6日 (締切日必着)
応募資格	18歳以上33歳未満(採用月の末日現在で33歳未満)の方
試験日程	第1回 令和3年5月21日～30日のうち1日 第2回 令和3年9月16日～19日のうち1日

●お問い合わせ先／

自衛隊福島地方協力本部

相双地域事務所

〒975-0033 南相馬市原町区高見町1丁目142-2

☎・FAX 0244-23-4712



■ 一般県道 広野小高線 (通称：浜街道)「井出工区」の 一部供用開始について

楡葉町井出工区における、一般県道 広野小高線(通称：浜街道)「井出工区」の一部が完成し、3月19日(金)より供用開始いたしました。

これにより常磐線竜田駅から天神岬スポーツ公園等へのアクセス向上が期待されます。

事業概要

【井出工区】(一部開通区間：下記の地図参照)

・開通箇所 楡葉町大字井出字上ノ原地内～井出字谷地地内

・開通区間 延長L=580m 車線幅員W=6.5m(道路幅員W=10.75m)

※井出工区の残りL=1,010mについては早期の併用開始を目指し施行中です。



消防署からのお知らせ

全国で大規模な山火事が発生しています！

山火事は3月から5月に多発しています。冬に下草が枯れ、落ち葉が積もり、燃えやすいものが堆積されます。春になると季節風や乾燥状態の日が続く、ちょっとした火でも燃え広がってしまいます。



全国の山火事の状況(令和元年)

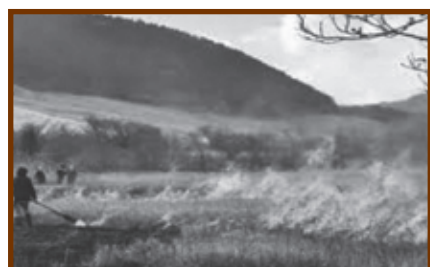
■火災件数 1,390件

■火災原因

第1位『たき火』
433件(31%)



第2位『火入れ』
262件(19%)



第3位『たばこ』
76件(6%)



山火事の原因の上位は、全て人的要因です。入山の機会が増えるこの季節、特に火災予防をお願いします。



火事と救急は119番



富岡消防署 ☎0240-22-2119
 檜葉分署 ☎0240-25-2119
 川内出張所 ☎0240-38-2119

身体障がい者の方に対する軽自動車税の減免

身体障がい者の方は、毎年軽自動車税の減免申請が必要となります。

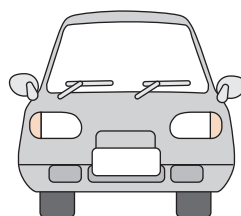
申請につきましては、必ず軽自動車税の納付書が届いてから檜葉町役場税務課へ申請してください。

また、郵送で申請する場合は、必要書類を同封のうえ送付してください。

■必要書類／

車検証(写)、印、身体障害者手帳(写)、
 運転免許証(写)、**軽自動車税納税通知書**

●お問い合わせ先／税務課 ☎0240-23-6101



コンビニ交付一時停止

コンビニ交付サービスのメンテナンス作業のため、次の日程でコンビニ交付サービスが一時停止しますので、お知らせいたします。

■サービス停止日程／

5月1日(土)～5月5日(水・祝) 終日

■サービス停止内容／

- コンビニ交付サービスにかかるすべての証明書の交付
- 本籍地利用登録申請
- 利用登録状況確認

■サービス停止理由／

メンテナンス作業実施のため

■サービス再開日時／

5月6日(木) 午前6:30から

●お問い合わせ先／

住民福祉課 戸籍住民係 ☎0240-23-6102

「福島県原子力被災事業者事業再開等支援補助金」の第10次公募を行います。

■対象者／

原子力災害発生時に12市町村内で事業を行っていた中小事業者又は社会福祉法人

■対象事業／

- ①12市町村内において事業再開や新規投資、販路開拓等の事業展開投資を行う場合
- ②原子力災害後、休業していた者、または休業していたとみなせる者で12市町村外において事業再開等を行う場合

■内容／

店舗や事務所整備などの事業に要する経費の一部を補助

■公募期間(予定)／

令和3年3月下旬～8月中旬頃
 (確定次第、本県HPでお知らせします。)
 締切(1回目)5月中旬 (2回目)8月中旬
 ※令和3年度の公募は申請の受付を2回に分けて、審査及び交付決定を行います。

●お問い合わせ先／

福島県経営金融課 ☎024-521-8657
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011b/>

「福島県創業促進・企業誘致に向けた設備投資等支援補助金」の第9次公募を行います。

■対象者／

- ①公募開始日から遡って5年以内に創業した者又は創業する者
- ②原子力災害時に12市町村内において事業を行っていなかった事業者であって12市町村内において事業展開を行う者

■対象事業／

12市町村内において事業を行う場合であって、働く場・買い物をする場などまち機能の早期回復や、原子力被災事業者の事業・生業の再建に資する事業

■内容／

店舗や事務所整備などの事業に要する経費の一部を補助

■公募期間(予定)／

令和3年4月中旬～9月下旬
 (確定次第、本県HPでお知らせします。)
 締切(1回目)6月中旬 (2回目)9月下旬
 ※令和3年度の公募は申請の受付を2回に分けて、審査及び交付決定を行います。

●お問い合わせ先／

福島県経営金融課 ☎024-521-8657
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32011b/>

回数乗車券購入費の助成について

町では、JR常磐線を利用される方を対象に「普通回数乗車券(11枚綴り)」購入費の一部を助成しています。

■対象者／

申請日現在、檜葉町に住所を有する方

■対象期間／

令和3年4月1日～令和4年3月31日

■対象乗車券／

回数乗車券
 ※起点または終点が「竜田駅」「木戸駅」「Jヴィレッジ駅」のいずれかであること。

■助成額・助成回数／

購入した回数乗車券の1/2の金額で、期間中一人当たり6回まで。
 ※助成額の上限 回数乗車券1組につき5,000円

■申請方法／

回数乗車券購入時の領収書と現住所が確認できる身分証明書を政策企画課窓口までお持ちください。

【普通回数乗車券とは】

乗車券10枚分の値段で11回ご利用いただけるきっぷで、有効期間は3か月です。途中下車、乗車区間変更はできません。

●お申し込み・お問い合わせ先／

政策企画課 まちづくり係 ☎0240-23-6103

おでかけタクシー・お買い物バス

町ではお買いものバス・おでかけタクシーを運行しています。

おでかけタクシーにつきましては、従来の助成証のままだご利用いただけます。

■お買いものバス

- 毎週木・金曜日に笑ふるタウンまでの送迎を目的に運行しています。(祝日は除く)
- 乗車料金は無料。どなたでもご利用できます。
- ルートや発着時間は町ホームページをご確認いただくか、政策企画課までお問い合わせください。

■おでかけタクシー

- 乗降車地がいずれも町内の時に限り、一律300円でタクシーがご利用いただけます。
- 対象となる方は次の要件のいずれかを満たしている方です。
 - ・65歳以上の方
 - ・身体障がい者手帳等の交付を受けている方
 - ・運転免許証を自主返納された方
 - ・妊娠中または産後3か月以内の方
 - ・その他町長が別に認める方
- ご利用時には助成証が必要です。再発行を希望される方は政策企画課の窓口までお越しください。

●お問い合わせ先／

政策企画課 まちづくり係 ☎0240-23-6103

企業広告欄 内容についてのお問い合わせは広告主までお願いします。

企業広告

司法書士法人
わたなべ法務事務所
司法書士 渡辺 大・木原雅裕

【主な取り扱い業務】
不動産の名義変更・会社の登記・建設業等

富岡事務所 双葉郡富岡町中央二丁目20番地
TEL 0240-22-1919

いわき事務所 いわき市平字童子町4-18 5階
TEL 0246-88-1818



企業広告

太陽光発電用地募集中!
活用方法でお困りの土地はございませんか?

ふくしまの
未来へつながる
太陽光発電用地を
お貸しください!

http://fukushimaenergy.co.jp

ふくしまエナジー 検索

現地調査は無料です。
お気軽にお問い合わせください。
調査後、お受けできない場合がございます。

GROUND ENERGY GROUP
ふくしまエナジー
〒963-8002 福島県郡山市駅前1-14-1 増子駅前ビル3F

☎0120-31-2521 営業時間◎9:00～18:00
http://fukushimaenergy.co.jp 定休日◎日・月・祝日

企業広告

太陽光発電の導入広がっています

エネルギーの自家消費で **災害**に強い住宅を
電気代の **節約**で **環境**にやさしい暮らしを

【檜葉町からの補助】
太陽光: 当社(檜葉町産)パネルの場合
1kWあたり**10万円**(最大40万円)
(他社製品: 1kWあたり6万円)
蓄電池: 蓄電容量1kWあたり**4万円**
(最大20万円)

【福島県からの補助】
太陽光: 最大16万円
蓄電池: 最大20万円
(売電しない場合)

アンフィニの
パネルを使うと
町からの支援額が
上乘せされます!

製造工場【福島】
定休日: 土・日・祝日 営業時間: 9時～18時
〒979-0602 福島県双葉郡檜葉町下宮岡字北台地16番地
TEL: 0240-26-0888 FAX: 0240-26-1888 アンフィニ株式会社 <https://infini.co.jp/>



**はぴ福なび婚活応援
キャンペーンをやっています**

ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」

「はぴ福なび」は福島県が導入したオンライン型の紹介システムです。令和3年1月末現在1,300名を超える方々にご登録いただき、皆様の婚活を応援しています。セミナーや婚活パーティーといった会員限定イベントも開催しておりますので、入会申込お待ちしております。



◎お問い合わせ先／
ふくしま結婚・子育て応援センター
(福島県青少年会館) ☎024-544-0070

おめでとうございます (敬称略)

氏名	保護者名	行政区
山内 絢禾 やまうち あやか	紳一郎・美穂	北 田
わたなべ 渡邉りんな	高志・絢乃	松 館

(広報ならは3月号掲載以降にお生まれになられた方)

お悔やみ申し上げます (敬称略)

氏名	年齢	行政区
松本 主務	86	上井出
猪狩 俊子	90	下繁岡
大和田 稔	89	前 原
高原 建自	70	上小埜

(広報ならは3月号掲載以降に亡くなられた方)

企業広告

Stable supply of
Lithium resources

次世代エネルギーの普及に
欠かせないリチウム資源の
安定供給へ

豊通リチウム株式会社
TOYOTSU LITHIUM CORPORATION

環境素材と技術による
価値創造を通じて、持続
可能な社会の発展に貢献し
地域と共生して参ります。

ー 正社員募集中 ー
熱い想いを持って共に成長していける
仲間を募集しています!

〒979-0513 檜葉町大字山田岡字仲丸1番地40
TEL 0240-23-6118 FAX 0240-23-7017
ホームページ▶▶▶ 豊通リチウム 検索



**戦没者等の遺族に対する
特別弔慰金**

～戦没者等のご遺族の皆さまへ、
第11回特別弔慰金の請求を受け付けています。

- 請求受付期間／
令和2年4月1日～令和5年3月31日まで
※請求期間を過ぎると第11回特別弔慰金を受けることができなくなりますので、ご注意ください。
- 支給対象者／
令和2年4月1日(基準日)において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」などを受ける方(戦没者の妻や父母等)がいない場合に、以下の順番で順位が先になるご遺族お一人に支給されます。

支給対象者は、戦没者等の死亡当時のご遺族で
1.令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
2.戦没者等の子
3.戦没者等の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹
※戦没者等の死亡当時、生計関係があったことなどの要件を満たしているかどうかにより、順番が入り替わります。
4.上記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族(甥、姪など)
※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係があった方に限ります。

- 支給内容／
●名称: 第11回特別弔慰金国庫債券「い号」
●額面: 25万円(年1回・5万円を5年間で償還)
- 請求受付窓口／
●請求者がお住いの市町村の援護担当課
●住民福祉課 社会福祉係

◎お問い合わせ先／
住民福祉課 社会福祉係 ☎0240-23-6102

ふるさと帰還通行カードの期間延長

NEXCO東日本による高速道路の無料措置が延長になりました。現在お使いの青いカードが引き続きご利用いただけますので、破棄されないようご注意ください。

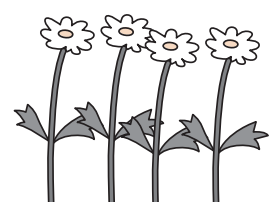
- 対象者／
平成23年3月11日に檜葉町に住所を有していた方
※平成27年9月4日までにお生まれになり、檜葉町に住所を有していた方も対象となります。
- 無料措置期間／
令和4年3月31日まで

◎お問い合わせ先／くらし安全対策課 ☎0240-23-6109

災害弔慰金の支給

檜葉町災害弔慰金の支給等に関する条例に基づき、東日本大震災により亡くなられた方のご遺族に対して、災害弔慰金を支給いたします。

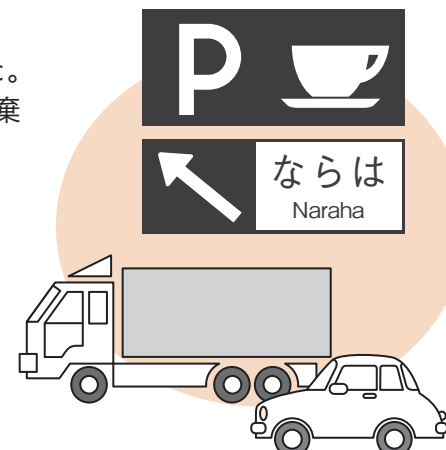
- 対象者／
平成23年3月11日現在、檜葉町に住所を有した方で、東日本大震災により亡くなられた方、または、災害に関連して亡くなられた方(災害関連死)のご遺族。
※災害関連死の判定は、「双葉地方災害弔慰金支給審査委員会」にて判定することになります。その結果によっては、支給認定されないこともあります。

- 支給遺族の範囲・順位／
- ① 配偶者
 - ② 子
 - ③ 父母
 - ④ 孫
 - ⑤ 祖父母
 - ⑥ 兄弟姉妹(同居または兄弟姉妹で生計を同じくしていた場合)
- 

- 支給額／
●生計維持者が亡くなられた場合…500万円
●その他の方が亡くなられた場合…250万円

- 必要書類／
●災害弔慰金支給調査票兼受領申出書
●震災後から死亡までの経緯について
●災害弔慰金請求同意書
●災害弔慰金の受領に関する委任状
●添付書類:
死亡診断書(検案書)・医療機関の診断書等の写し
振込口座の通帳の写し
受給される方の身分証明書の写し 等

◎お問い合わせ先／
住民福祉課 社会福祉係 ☎0240-23-6102



町で実施した自家消費食品等の放射能簡易検査結果

令和2年4月～令和3年1月までの測定結果の累計及び、令和3年2月分の自家消費食品等簡易測定所で実施した食品等の放射能検査結果となります。

食品種別	令和2年4月～令和3年1月分			2月分	測定物(基準値超数／検体数) 最小値～最大値(Bq/kg)		
	不検出(ND)	基準値未満	基準値以上	検体数			
水 類	14/14	0/14	0/14	0			
山菜類	17/126	76/126	32/126	1	シイタケ(1/1) 269.03		
果実類	20/46	25/46	1/46	0			
野菜類	83/97	14/97	0/97	3	ナノハナ(0/1) ND	ヤーコン(0/1) ND	カラシ菜(0/1) ND
鳥 獣	0/17	4/17	12/17	5	猪肉(3/5) 42.10～3,149.90		
その他	7/12	4/12	1/12	0			
合 計	141/310	123/310	46/310	9			

※区分は県の区分に従いました。色字は検査した食品のうち国の基準を超えた検体数です。
※国の基準(平成24年4月1日施行)は、一般食品で1キロ当たり100ベクレル、飲料水で10ベクレル、牛乳や乳児用食品は、50ベクレルです。
※依頼された検査品の最小値と最大値を記載しています。
※「ND」は「Not Detected」の略です。「不検出」の意味で、検出限界以下であることを示す場合に用います。
※従来の詳細な測定値の表は、ホームページで随時公開していきます。

◎お問い合わせ先／産業振興課 ☎0240-23-6104 自家消費食品等簡易測定所 ☎0240-23-6557

檜葉町公共施設等モニタリング調査実施結果(3月実施分)

- 調査期間 令和3年3月5日(金)
- 測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ(空間放射線量率測定用サーベイメータ)を使用
- 測定方法 地表面から高さ1m及び高さ1cmの空間線量率を測定(くらし安全対策課職員が実施)。
測定器を水平に保ち、約30秒ほど経過させて測定値が安定したことを確認し、10秒ごとに測定値を5回読み取り、その平均値を記載する(県指定測定方法に基づき実施)
- 測定結果

測定箇所		測定値(μSv/h)	
		地上1.0m	地上1.0cm
		今月測定値	今月測定値
下井出地区集会所	(駐車場)	0.14	0.14
しおかぜ荘	(玄関前)	0.12	0.12
天神岬スポーツ公園内	(オートキャンプ場)	0.09	0.10
天神岬スポーツ公園内	(芝 生)	0.07	0.07
こども園	(園 門)	0.17	0.18
北田地区集会所	(駐車場)	0.11	0.11
木戸川漁協	(玄関前)	0.09	0.13
前原地区集会所	(駐車場)	0.08	0.09
山田浜地区集会所	(駐車場)	0.09	0.10
山田岡地区集会所	(駐車場)	0.09	0.11
木戸駅	(入口前)	0.10	0.11

測定箇所		測定値(μSv/h)	
		地上1.0m	地上1.0cm
		今月測定値	今月測定値
檜葉南小学校	(校 門)	0.10	0.11
下小堀地区集会所	(駐車場)	0.11	0.13
佐野地区集会所	(駐車場)	0.11	0.09
後沢地区集会所	(駐車場)	0.12	0.13
名古屋地区集会所	(駐車場)	0.10	0.11
大坂地区集会所	(駐車場)	0.12	0.12
鍛木下地区集会所	(駐車場)	行政区再編により測定終了	
女平地区集会所	(駐車場)	0.13	0.13
木戸ダム	(中央公園駐車場)	0.11	0.13
乙次郎地区集会所	(駐車場)	0.13	0.14
上小堀地区集会所	(駐車場)	0.12	0.12
南児童館	(門 前)	0.07	0.09

※全測定結果は、ホームページから閲覧することができます。
※2月、3月実施分について、最大の測定値となった箇所は下記の通りとなります。
▶地上1m:上繁岡集会所(駐車場) 0.23μSv/h ▶地上1cm:上繁岡集会所(駐車場) 塩貝の大力ヤ(駐車場) 0.24μSv/h
※平成29年5月調査より、測定箇所を概ね北部と南部に分けて2か月に1度の測定に変更しました。3月は南部の測定結果を掲載します。
※令和元年5月より大坂地区集会所の測定点を新しい集会所に変更しました。
※令和元年9月より前原地区集会所の測定点を新しい集会所に変更しました。
※令和2年5月より南児童館の測定を開始しました。

◎お問い合わせ先／くらし安全対策課 放射線対策係 ☎0240-23-6109

檜葉町内居住者集計表(令和3年2月28日現在)

【住民基本台帳人口】

世帯数	男	女	人口(外国人含む)
3,025	3,453	3,318	6,771

【町内居住者】

北行政区	世帯数	人数	南行政区	世帯数	人数
上井出	266	518	上小堀	100	203
下井出	219	310	下小堀	207	510
北 田	354	720	山田岡	254	507
大 谷	124	232	前 原	49	97
松 館	42	107	山田浜	40	90
上繁岡	61	119	女 平	14	31
繁 岡	71	129	大 坂	11	24
下繁岡	101	183	小 計	675	1,462
波 倉	36	58	合 計	2,069	4,050
営 団	118	209			
乙次郎	2	3			
小 計	1,394	2,588	町内居住率	68.4%	59.8%

【町内居住者年代別集計表】

	人数		人数
0～4歳	151	60～64歳	359
5～9歳	101	65～69歳	408
10～14歳	85	70～74歳	334
15～19歳	100	75～79歳	248
20～24歳	172	80～84歳	219
25～29歳	189	85～89歳	176
30～34歳	189	90～94歳	96
35～39歳	192	95～99歳	24
40～44歳	203	100～104歳	5
45～49歳	243	合 計	4,050
50～54歳	215		
55～59歳	341		

町内居住率(%) = $\frac{\text{町内居住者数}}{\text{住民基本台帳人口(月末)}}$
① 町内居住者数／当月末の町内に居住する者の数
② 町内居住率 / 当月末の住民基本台帳人口に対する町内居住者数の割合

水道水中における放射性物質のモニタリング結果

■採水場所:小山浄水場

■水 源:木戸川(ダム放流水)

■採水年月日:令和3年2月1日～28日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

※いずれの検体も、2月28日時点で放射性物質は不検出です。
※「ND」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1Bq/kg)未満であることを示しています。

■採水場所:北林配水池

■水 源:寺下・中川原水源池(浅井戸・伏流水)

■採水年月日:令和3年2月1日～28日

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
ND	ND	ND

測定機関:双葉地方水道企業団
分析装置:ゲルマニウム半導体検出器 / 検査頻度:毎日
測定方法:水道水等の放射能測定マニュアル(厚生労働省)

《参考》検査日現在の目標値 (単位:Bq/kg)			
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	—	10	

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

檜葉町 令和3年度 双葉地方水道企業団 水道修理工番表(令和3年4月～令和4年3月)

業者名	年月	令和3年 4月	令和3年 5月	令和3年 6月	令和3年 7月	令和3年 8月	令和3年 9月	令和3年 10月	令和3年 11月	令和3年 12月	令和4年 1月	令和4年 2月	令和4年 3月
草野建設㈱ TEL 0240-25-3121		5日～11日	3日 10日～16日	7日～13日	5日～11日	2日～8日 16日 30日・31日	1日～5日 27日～30日	1日～3日 25日～31日	22日～28日	20日～26日	3日 10日～16日	7日～13日	7日～13日
佛彩輝 TEL 0240-25-2585		12日～18日	4日 17日～23日	14日～20日	12日～18日	9日～13日	6日～12日	4日～10日	1日～7日 29日・30日	1日～5日 27日～31日	4日 17日～23日	14日～20日	14日～20日
尙吉田設備 TEL 090-3982-3422		19日～25日	5日 24日～30日	21日～27日	19日～25日	14日 17日～22日	13日～19日	11日～17日	8日～14日	6日～12日	1日・5日 24日～30日	21日～27日	21日～27日
尙村井設備 TEL 0246-38-6855		1日～4日 26日～30日	1日・2日 6日～9日 31日	1日～6日 28日～30日	1日～4日 26日～31日	1日・15日 23日～29日	20日～26日	18日～24日	15日～21日	13日～19日	2日・31日 6日～9日	1日～6日 28日	1日～6日 28日～31日

譲渡・売買が可能な町内産農産物

現在福島県では、放射能検査を行い安全な農産物が流通・消費される体制を整えています。
年度毎に町内において1品目あたり1検体以上、県の放射能検査を実施する必要があります。
下の表は、令和2年4月から令和3年3月5日までに県で行われた、検査結果です。
この表に、含まれない農産物の譲渡・売買はできません。(野生に自生する物も含まれます)

【譲渡・売買が可能な農作物】

(令和3年3月5日現在)

野 菜	赤しそ	アスパラガス	オクラ(アスパラ)	大 葉	オクラ	かぼちゃ	からしな	カリフラワー	キャベツ
	きゅうり	サニーレタス	さやいんげん	さやえんどう	シュンギク	すいか	ズッキーニ	スナップえんどう	そら豆
	タラ(芽の生えぬ)	チンゲンサイ	とうがらし	とうもろこし	トマト	なす	菜花	にがうり(ゴーヤ)	にら
	ねぎ	はくさい	葉にんにく	パプリカ	はやとうり	ピーツ(火焔菜)	ピーマン	ブロッコリー	ほうれん草
	ミニトマト	みょうが	メロン	モロヘイヤ	落花生				
根菜・芋類	かぶ	かんしょ(さつまいも)	ごぼう	里芋	大根	たまねぎ	ながいも	にんじん	にんにく
	はつか大根	ばれいしょ(じゃがいも)	らっきょう						
果 物	あんず	うめ	柿	クリ(※栽培)	日本梨	ブルーベリー	みかん	ゆず	

※栽培は肥培管理されているもので、山取り(野生)をのぞきます。

上の表に含まれない農産物等を譲渡・売買したい場合は、まず農業普及所に問い合わせ、県の放射能検査を受けてください。

◎お問い合わせ先／福島県双葉農業普及所 ☎0240-23-6474 産業振興課 ☎0240-23-6104



ご存知でしたか？
アルゼンチンとのつながり
アルゼンチン共和国×檜葉町

檜葉町はサッカーワールドカップ
日韓大会(2002年開催)の際、アル
ゼンチン共和国公認のキャンプ地とな
り交流がスタート。東日本大震災で
は、赤十字社を通じてアルゼンチン共
和国から多額の義援金が寄せられ、
復興の大きな力となりました。
ワールドカップ開催から20年が経
つ現在でも、様々な形でアルゼンチン
と檜葉町の交流が続けられています。

アルゼンチン共和国×檜葉町

スポーツでつながる



アルゼンチン代表チームを迎えるあおぞらこども園の園児たち

食を通してつながる

2月24日、あおぞらこども園の給食
に「マテ茶プリン」が登場！ミネラルや
ポリフェノールが豊富なマテ茶はアル
ゼンチンでは「飲むサラダ」と呼ばれ、
健康に良いとされています。園児たち

はマテ茶プリンを「大人の味」と表現
して、おいしそうに食べていました。
また2月25日には、アルゼンチンの
ギジェルモ・ハント駐日大使とのアル
ゼンチン料理オンライン試食会に松
本幸英町長が出席。Jウィレッジの
料理長が考案した、檜葉町の食材を
使ったおもてなし料理にハント大使
も太鼓判を押してくださいました！
町ではアルゼンチン共和国の支援へ
の感謝と、町の復興を伝える応援動
画を作成しました。YouTubeから
視聴できます。ぜひ覗いてみてくださ
い。これからも檜葉町は、アルゼンチン
共和国との交流を進めていきます！
そして東京2020オリンピック
ク・パリンピックでは、檜葉町みん
なで日本、アルゼンチン共和国、そし
ても一つの復興ありがとつホスト
タウンのギ
リシャ共和
国を応援し
ましょつ！！



YouTube
ならはCh.
檜葉町
公式チャンネル



檜葉町の新たな挑戦 ～ゼロカーボンシティ宣言～



二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることは、
世界が協力して取り組むべき課題です。かけがえのない
故郷の環境を未来の世代へつなぐため、3月7日、
檜葉町は2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする
「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを宣言しました。



未来に生きる小学生の皆さんとともに宣言を行いました

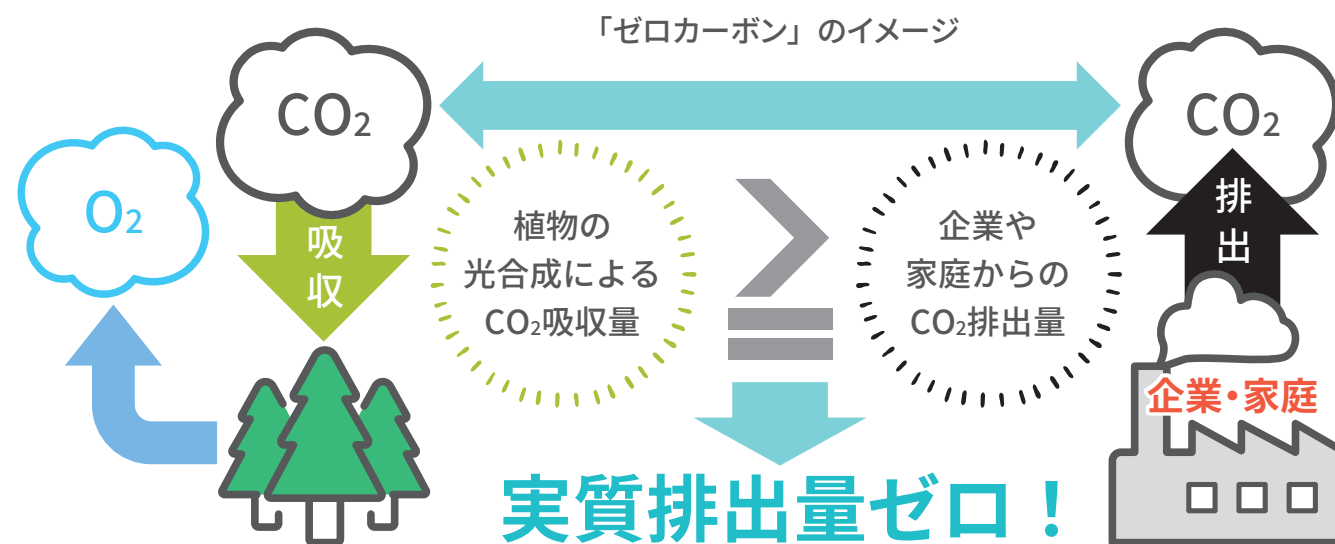
ゼロカーボンとは…

「温室効果ガス(主に二酸化炭素)の実質排出量をゼロにする考え方」のこと。

実際には、二酸化炭素(CO2)の排出量を完全にゼロにすることは不可能です。そこで、

CO_2 の吸収量 $\geq$ CO_2 の排出量

を達成することで、排出量を実質的にゼロにする考え方です。



お問い合わせ先／くらし安全対策課 環境係 ☎0240-23-6109



消防団員 募集中!

檜葉町消防団はみなさんの力を必要としています!

●資格: 檜葉町にお住まい・お勤めの18歳以上の方

お問い合わせ先/檜葉町 暮らし安全対策課 ☎0240-23-6109



今月から1歳を迎える
お子様を紹介するコーナー
ができました!

1歳
おめでとう!

4月
生まれ

しま
島 みちる ちゃん 下小埜

10か月健診の際にお写真をお撮りします。



問題

檜葉町が2050年までに目指す「温室効果
ガスの実質排出量をゼロにする」まちとは?

- A. サンカーボンシティ B. ニカーボンシティ
C. イチカーボンシティ D. ゼロカーボンシティ

●前月号の答え D:スポーツコミッション

町・Jヴィレッジ・檜葉スポーツ協会の三者で協力してスポーツによるまち
づくりを推進します!

檜葉町役場 連絡先一覧

檜葉町役場

- 総務課 ●税務課 ●住民福祉課 ●政策企画課(旧復興推進課)
- 産業振興課(農業委員会含む) ●新産業創造室 ●建設課
- くらし安全対策課 ●出納室 ●議会事務局

〒979-0696 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6

TEL 0240-25-2111 FAX 0240-25-5564

☎0120-562-171(フリーダイヤル) E-mail: naraha@town.naraha.lg.jp

【土日祝日は日直対応 8:30~17:15】

教育総務課

檜葉町コミュニティセンター

- 学校教育係 ●総務係
- 文化財係 ●生涯学習係
- 社会教育係

〒979-0604

双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-4

TEL 0240-23-5515(学校教育・総務係)

TEL 0240-25-2492(文化財・生涯学習・社会教育係)

TEL 0240-25-4701(コミュニティセンター)

FAX 0240-25-4703

檜葉まなび館
(旧檜葉南小学校)

〒979-0514

双葉郡檜葉町大字下小埜字麦入31

TEL 0240-23-6190 FAX 0240-23-6192

あおぞらこども園

●子育て支援センター

〒979-0604

双葉郡檜葉町大字北田字中満296-1

TEL 0240-26-0808 FAX 0240-25-1145



檜葉町をちょっと
のぞいてみませんか?

檜葉町公式 SNS



ホームページ



Facebook



Instagram



LINE



あおぞらこども園
Instagram